

令和4年(2022年)12月1日(木曜日)

三島駅前再開発、順大進出意向

医療福祉の充実期待

市議会一般質問

三島市は30日、広域健康医療拠点を整備する三島駅南口東街区の再開発事業について、伊豆の国市で付属病院を運営する順天堂大が進出の意向を示していることについて「医療・福祉の充実につながる可能性がある」との認識を示した。同日の市議会11月定例会で、野村諒子氏(緑水会)の一般質問に答えた。

関係者によると、順大は高層棟4階の約千平方メートルに高機能な健診センターや診療施設を導入する計画。市当局は進出する医療機関について「正式に決定している段階ではない」としつつ、順大の構想に期待を示した上で「市医師会の意見を伺いながら具体的な機能を決定していきたい」と語った。

また建築資材の高騰に伴い工事費が上昇すれば、「制度上、補助金額が増加する可能性はある」と語った。その上で、E・C・I方式により設計段階から参画するゼネコンが施工業者になるためには「組合が施工可能な工事費とすることが必要」とし、同方式が工事費高騰の抑制につながるとの見解を示した。

同日はこのほか、沈久美(改革みしま)、村田耕一(公明)、古長谷穂(無会派)の3氏も登壇した。

(三島支局・金野真仁)